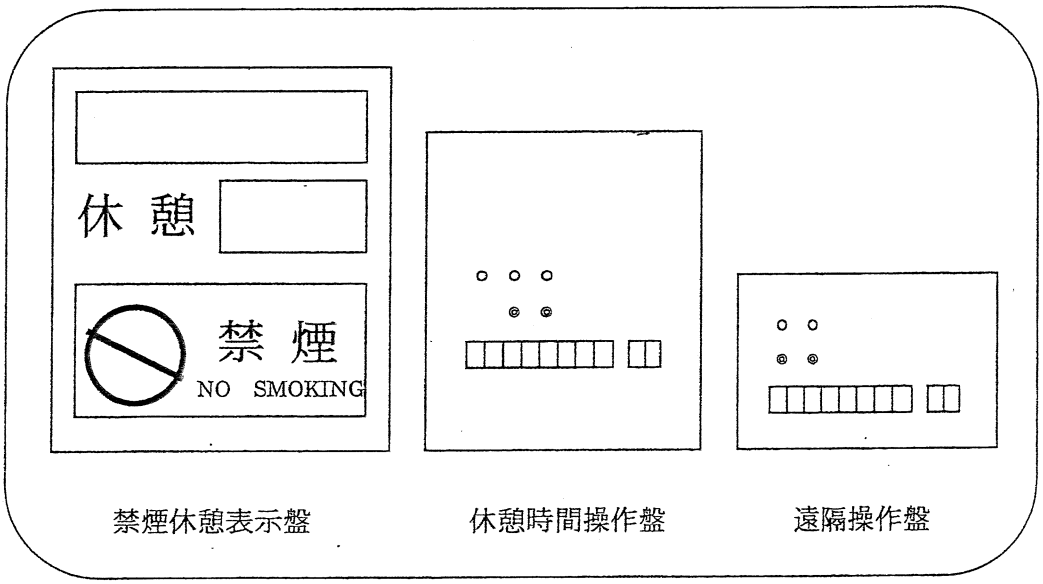
Panasonic®

商　品　名　　禁煙表示付休憩時間表示装置
（蛍光管式）

品　　番　　禁煙休憩表示盤　TCD1151W
休憩時間操作盤　TCD1152
遠隔操作盤　　TCD1153

取 扱 説 明 書

お客様へ：ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しくお使い下さい。
この説明書は必ず保管してください。



生産終了品
この商品は生産終了につき
製造することができません

安全上のご注意

⚠ 注意

○　交流１００Ｖ以外では使用しないでください。
　　感電・火災・故障の原因になります。

○　分解や改造をしないでください。
　　感電・火災・故障の原因になります。

○　施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
　　切らずに行うと感電の危険があります。

目　　次

○ 表示盤の名称とはたらき …… 1

○ 休憩時間操作盤の名称とはたらき …… 2

○ 遠隔操作盤の名称とはたらき …… 3

○ 仕様 …… 4

○ 結線図 …… 5

○ 操作方法(休憩時間操作盤) …… 6

○ 操作方法(現在時刻の合せ方) …… 8

○ 故障の早見表 …… 9

○ 保守について …… 10

○ 補修用性能部品と品番(表示盤) …… 11

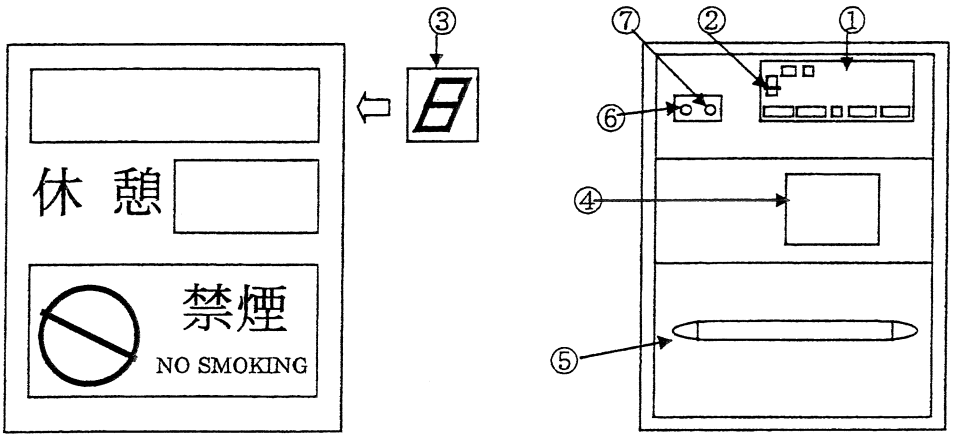
○ 補修用性能部品と品番(禁煙時間操作盤) …… 12

○ 補修用性能部品と品番(遠隔操作盤) …… 13

○ 修理の依頼先 …… 14

表示盤の名称とはたらき

〔禁煙休憩表示盤　TCD1151W〕



①プリント基板　　：時計表示用のプリント基板です。

②リチウム電池　　：時計表示の停電補償用です。
停電補償は１０年間です。
時計表示用のプリント基板上に実装されています。

③蛍光表示管　　：昼夜間いずれにおいても、液晶に比べ遠くからでも
鮮明な表示コントラストが得られます。

④プリント基板　　：休憩時間表示用のプリント基板です。

⑤蛍光灯　　：休憩、禁煙の蛍光灯光源です。

⑥リセットスイッチ　　：電池交換時などで誤表示をした場合に初期状態に
戻すスイッチです。

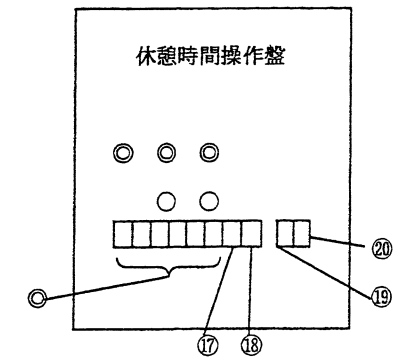
⑦１２Ｈ２４Ｈ切替えスイッチ：時刻表示を１２時間制で表示するか、２４時間制で
表示するかの切替えスイッチです。

１２Ｈ・・・１２時間制（一般的に多く使用されている）

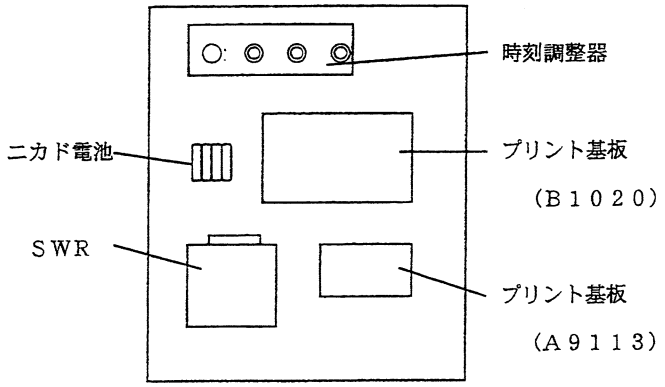
２４Ｈ・・・２４時間制

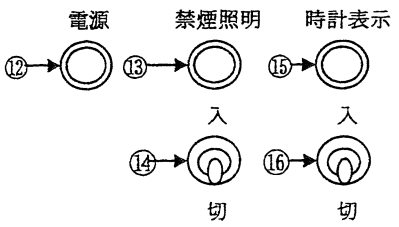
休憩時間操作盤の名称とはたらき

〔禁煙時間操作盤　TCD1152〕

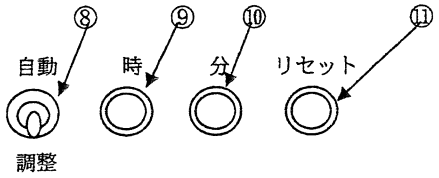


外観図





扉を外した内部部品図



時刻調整器

⑧自動・調整スイッチ

このスイッチは、時刻カウントあるいは時刻修正のモード切替スイッチです。

- 自動側に倒れている時は、時刻カウントを行います。
  （通常はこの状態で使用します。）
- 調整側に倒れている時は時刻カウントを停止し時刻修正のできる状態になります。

⑨時位調整スイッチ

このスイッチを押しますと〈時〉位表示がカウントアップしていきます。

⑩分位調整スイッチ

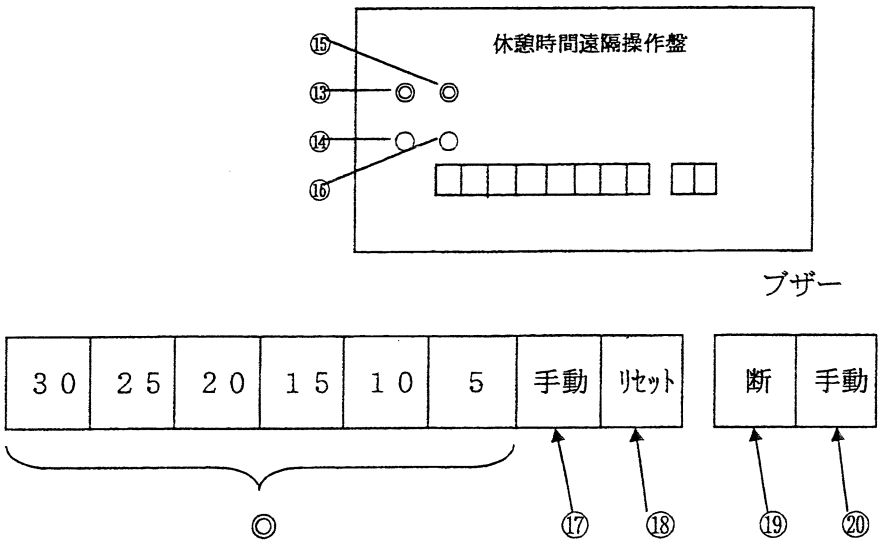
このスイッチを押しますと〈分〉位表示がカウントアップしていきます。尚、カウントアップが〈５９分〉になると次は〈００分〉になります。この時、〈時〉単位は桁上げされません。

⑪リセット

このスイッチを押しますと押した瞬間に内部クロック回路の〈秒〉を０秒にゼロリセットします。

遠隔操作盤の各部の名称とはたらき

〔遠隔操作盤 TCD1153〕



⑫電源パイロットランプ：操作盤電源が ON 状態であれば点灯します。
（赤色 LED）

⑬禁煙照明パイロットランプ（赤色 LED）

⑭禁煙照明スイッチ：〈禁煙〉の点灯の〈入〉〈切〉を行います。

⑮時計表示パイロットランプ（赤色 LED）

⑯時計表示スイッチ

このスイッチで時計部蛍光灯の点灯の〈入〉〈切〉を行います。表示装置を使用されないときはこのスイッチで蛍光灯を消灯しておきます。

◎休憩時間設定スイッチ（照光式押釦スイッチ）

休憩時間は 30 25 20 15 10 5 の 6 段階の〈分〉単位に分かれています。

⑰手動押釦スイッチ（照光式押釦スイッチ）

休憩時間の自動カウントダウン中に一時停止させるスイッチです。

⑱リセットスイッチ

このスイッチを押すと、全てのカウント機能が電源 ON 時の初期状態にリセットされます。

（デジタル時計部はリセットされません。）

⑲ブザー断スイッチ（照光式押釦スイッチ）

ブザー手動スイッチでブザーを強制吹鳴後、停止させる時に使用します。

⑳ブザー手動スイッチ（照光式押釦スイッチ）

強制的にブザーを鳴らす時に使用します。

仕　様

1システム構成

○蛍光表示管を使用したモダンなデザインの屋内専用のデジタル時計です。休憩時間は1分単位の表示を行い、5分単位でセット可能。セット時間が終了するとブザー用接点が閉じます。

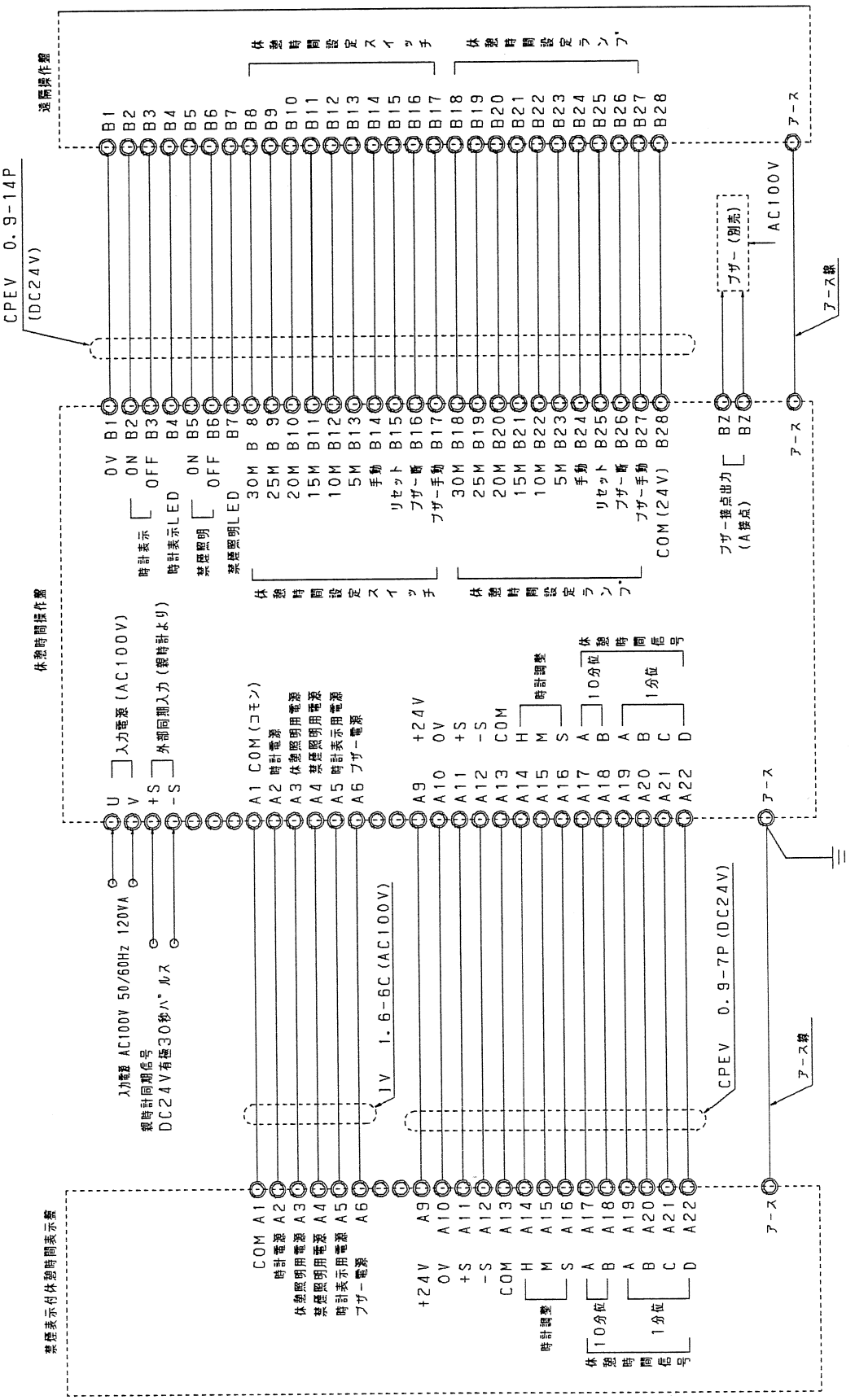
○視認角度：水平方向　±60度以内

垂直方向　上60度以内　下60度以内

2定格

		表示盤	操作盤	遠隔操作盤
入力電源		―――	AC100V±10%50/60Hz	―――
入力電源容量		―――	約 100VA	―――
(質量)重量		35Kg	11Kg	6Kg
使用環境		屋内型	屋内型	屋内型
精度	週　差	室温 25 度にて±1.5 秒以内(親時計有りは、親時計精度による)		
	補償温度	5℃～＋40℃　（平均温度25℃）		

結線図


遠隔操作盤
CPEV 0.9-14P
(DC24V)
休憩時間操作盤
禁煙表示付休憩時間表示盤
入力電源 (AC100V)
親時計同期信号
DC24V有極30秒パルス
外部同期入力 (親時計より)
IV 1.6-6C (AC100V)
CPEV 0.9-7P (DC24V)
アース線
ブザー (別売)
AC100V
ブザー接点出力
(A接点)
時計表示
時計表示LED
禁煙照明
禁煙照明LED
休憩時間設定スイッチ
休憩時間設定ランプ
時計調整
休憩時間信号
10分位
1分位

操作方法

表示盤の設定と操作

○時計表示設定スイッチをご使用条件に設定して下さい。

12H　と　24H　の切換え

操作方法

休憩時間操作盤の設定と操作

◎ニカド電池のコネクターをダクトから出ているコネクターと接続してください。

○操作盤内部の「ブレーカ」を「入」にして下さい。

○「禁煙照明スイッチ」および「時計表示スイッチ」を「ON」にして下さい。
表示盤側のデジタル時計が表示し、禁煙部の蛍光灯が点灯します。

○休憩時間設定ボタンを押し、時間設定します。
（休憩時間［単位：分］は 30 25 20 15 10 5 の６段階に分かれています。いずれかのボタンを押して下さい。押したボタンのランプが点灯し同時に休憩時間デジタルモニターが表示します。）

○休憩時間は、設定ボタンを押すと同時に１分単位で自動的にカウントダウンを開始します。
（表示盤側の休憩部の蛍光灯が自動点灯します。）

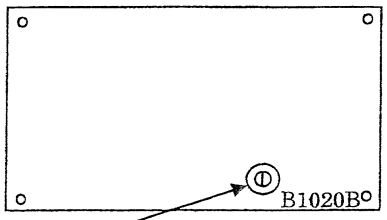
○カウントダウンの途中で休憩時間を手動にて変更できます。この場合は所定の時間のボタンを押して下さい。変更された休憩時間から再度カウントダウンを開始します。

○カウントダウンの途中で一時停止する場合は「手動」のボタンを押して下さい。
休憩時間のカウントダウンは停止します。再度カウントダウンを開始する時はもう一度「手動」のボタンを押して下さい。

○タイムアップ（休憩時間が０秒の状態）すると
１）ブザーが自動的に５秒間吹鳴します。
２）ブザー吹鳴が停止すると同時に休憩時間部のデジタル表示が消え蛍光灯が消灯します。

○ブザーの手動操作方法
１）ブザーが自動的に吹鳴した時に、ブザー停止をする場合は「ブザー断」のスイッチを押して下さい。
２）ブザーを手動で吹鳴させる時は「ブザー手動」スイッチを押して下さい。

○ブザー吹鳴時間調整方法
休憩時間操作盤内にあります、Ｂ１０２０基板のボリュームを調整することによりブザーの吹鳴時間を変えることができます。



ボリューム（右に回すと吹鳴時間が長くなります。）

※出荷時設定は５秒にしてあります。
吹鳴時間の変更が已むお得ない場合にのみ調整してください。

操作方法

現在時刻の合わせ方　時刻調整器（操作盤内に設置しています）

○「自動・調整スイッチ」を「調整」側にして下さい。
○まず「秒単位」を現在時刻の「秒」にあわせます。「リセット」押釦スイッチを電話の時報（TEL：１１７）、ラジオ、TV の時報音と同時に押して下さい。（押した瞬間が０秒スタートです）
○「分位調整」押釦スイッチで現在時刻の「分」に合わせます。
カウントアップは「５９分」から「００分」になります。この時「時」単位は桁上げされません。
○「時位調整」押釦スイッチで現在時刻の「時」にあわせます。
○時刻調整が完了しましたら「自動・調整スイッチ」を「自動」側にしてください。
表示盤に現在時刻が表示されます。
○親時計との同期については AM7:00,PM7:00±10 秒の間の同期信号により親時計と同期します。

⚠ 注意

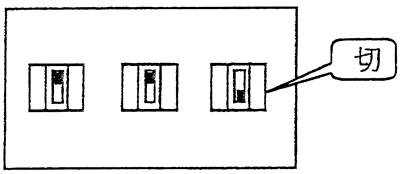
現在時刻と設定された時刻とのズレは±５秒としてください

既設の親時計と同期運転する時に、初期設定時刻が現在時刻±１０秒以上の誤差がありますと外部同期信号を受け付けず時刻誤差が積算されていきます。

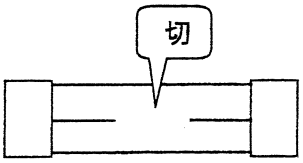
故障の早見表

時計に異常が発生しましたら次の内容についてお調べください。
お調べになって異常がなければ販売店にご連絡おねがいします。

時計の表示がしていない。

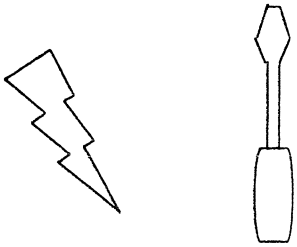


●分電盤の時計専用ブレーカが切れていませんか。

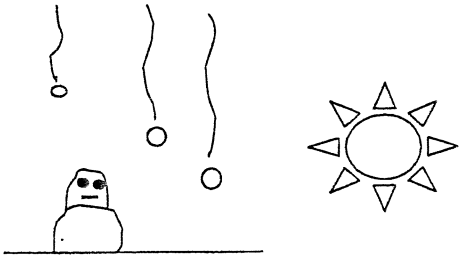


●操作盤のヒューズが切れていませんか。
（有り、なしがあります）

時計表示がくるっている



●落雷または電気工事のためAC100V電源が停電になりませんでしたか。



●極度な温度環境で使用されていませんか。

●停電が発生してから復電しても、時刻表示がくるっている場合は表示盤用停電補償用リチウム電池（TD72002458-3.6V1200mAH）か操作盤用の停電補償用ニカド電池（TC59512457-4.8V500mAH）が寿命です。交換修理を依頼してください。

保守について

本商品は常時運転しており、機械的な磨耗も含め定期的なメンテナンスが必要です。
又は、下記の使用性能部品にも寿命があります。

○保証期間は１年です。

本商品の保証期間はお買い上げの日（ご使用開始）から１年間となっています。

○定期的メンテナンスの内容

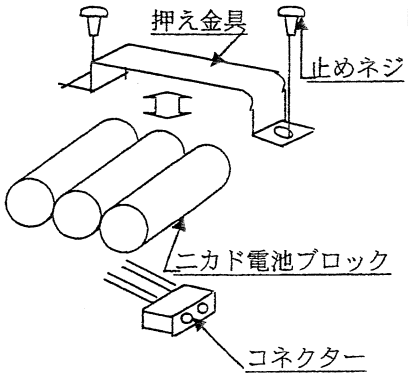
メンテナンス内容	期　間	メンテナンス方法
端子台の増締め	１年間	端子ネジの増締めをして下さい （電源を必ず切って実施下さい）
時刻調整	３ヶ月	時刻誤差を操作盤の 「時刻調整器」で調整して下さい

○性能部品の平均寿命

下表の部品はメンテナンスが必要ですので交換時期になりましたら、部品取換えを行って下さい。

性能部品	平均寿命	使用条件
ニカド電池 （DC4.8V,500mAH）	３年	３年間で約 300 回の停電が 発生した場合
蛍光灯 （FL-20W　昼光色）	１～２年	定格寿命：8500 時間
リチウム電池	１０年	１０年の連続停電の場合
蛍光表示管	５年	定格寿命：30000 時間

○ニカド電池ブロック（TC55032457）

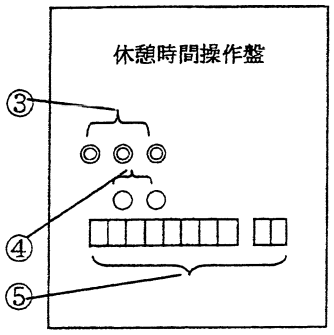


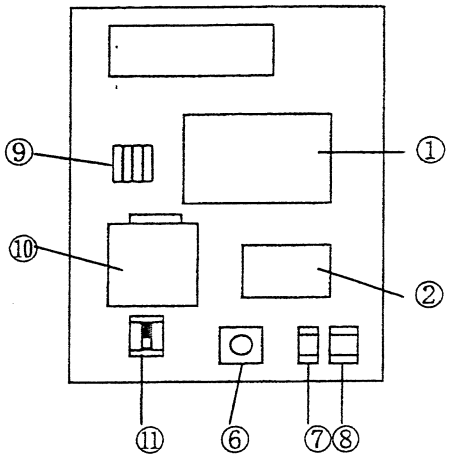
「ニカド電池ブロック」を押さえている「押え金具」の止めネジ２本をはずし「ニカド電池ブロック」を取出し「コントロールボックス」に差し込まれているコネクターをはずして取り出します。
交換用の「ニカド電池ブロック」を止めネジで押え金具と同時に締付けます。
その後コネクターを「コントロールボックス」に確実に接続してください。

Ni-Cd：この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は、リサイクルへご協力ください。

補修用性能部品と品番

休憩時間操作盤 TCD1152





扉を開けた内部図

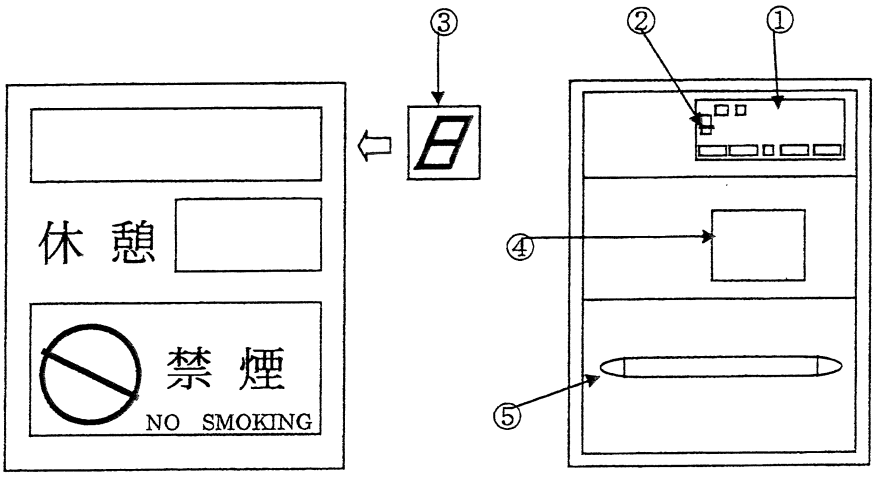
○補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

記号	ご注文品番	部 品 名	定格容量等	備 考
①	TC595B1020	プリント基板		B1020B
②	TC595A9113	プリント基板		A9113
③	TA41232337	表示用 LED(赤)		BD-0817(ｾｲｺｰ)
④		トグルスイッチ		AJ-31140(パナソニック)
⑤	TC59512008	照光式押釦スイッチ		MCM-23D-M10TB-DA(和泉)
⑥	TC59502477	ブザー		VDC-24(ハロー)
⑦		リレー	HC2-DC24V	AP922206(パナソニック)
⑧		リレー	HC2K-DC24V	AP7222(パナソニック)
⑨	TC59512457	ニカド電池	4.8V 500mAH	
⑩	TC59512237	ｽｲｯﾁﾝｸﾞﾚｷﾞｭﾚｰﾀｰ	24V 1.1A	ERA24SA(イーター)
⑪		ブレーカー	20A	

補修用性能部品と品番

表示盤 TCD1151W



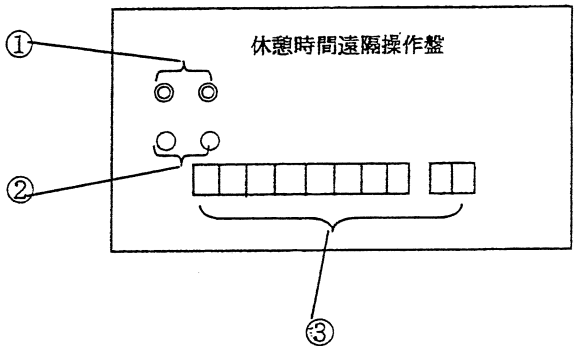
○補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

記号	ご注文品番	部品名	定格容量等	備考
①		P板		A9231C
②	TD72002458	リチウム電池	3.6V 1200AH	
③	TCD1412277	蛍光表示管		H=120
④	TC555A9013	P板		A9013
⑤	FL020022	蛍光灯	20W	

補修用性能部品と品番

遠隔操作盤 TCD1153



○補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

記号	ご注文品番	部 品 名	定格容量等	備 考
①	TA1232337	表示用 LED(赤)		BD-0817(セイコー)
②		トグルスイッチ		AJ-31140(パナソニック)
③	TC59512008	照光式押釦スイッチ		MCM-23D-M10TB-DA(和泉)

アフターサービス　よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）　ー
お買い上げ日　　年　月　日

修理を依頼されるときは
お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	禁煙表示付休憩時間表示装置(蛍光管式)
●品　番	TCD1151W/TCD1152/TCD1153
●故障の状況	できるだけ具体的に

●診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊ 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
出張料	技術者を派遣する費用
部品代	部品および補助材料代

＊ 補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、以下の**お客様ご相談窓口**にご相談ください。

アフターサービス　パナソニックお客様ご相談窓口のご案内

●この製品の修理・部品などのご相談は、まず工事店へお申し付けください。

使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック　お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「640＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■上記番号がご利用いただけない場合　06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturday/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

修理・部品などのご相談は

パナソニック エコソリューションズ　修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ　修理ご相談センター
ナビダイヤル（全国共通番号）0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時
ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401(転)　名古屋☎052-551-7900(転)
東京☎03-5392-7190(転)　福岡☎092-622-0531(転)
※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は当社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

※記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®マークは基本的に明記していません。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真1048番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012